

平成28年度病害虫発生予報第12号

平成29年3月3日
愛知 県

普通作物

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
コムギ	赤さび病	やや多い	県全域	一部地域ですでに発生を認めている 前年の発生量は多い 3月の降水量は平年並か少ない	＋ ＋ ±～－

・防除対策

〔コムギ・赤さび病〕

生育が早く葉色の濃い場所や過繁茂の場所を中心にほ場を見回り、発生を認めたら、ワークアップフロアブル、ストロビーフロアブルなどで防除しましょう。

多肥は発生を助長するので、肥培管理を適正に行いましょう。

果樹

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
ナシ	黒星病	やや多い	県全域	前年秋期の発生量はやや多い 3月の降水量は平年並か少ない	＋ ±～－
モモ	せん孔細菌病	多い	県全域	前年秋期の発生量は多い 3月の降水量は平年並か少ない	＋ ±～－
ブドウ	黒とう病	平年並	県全域	前年の発生量は平年並	±

・防除対策

〔ナシ・黒星病〕

発芽前までに石灰硫黄合剤で防除しましょう。また、りん片発病芽は見つけ次第除去し、I Cボルドー48Qやデランフロアブルなどでりん片脱落期に防除しましょう。なお、葉害の心配があるので、石灰硫黄合剤とI Cボルドー48Qの散布間隔は2週間以上空けるようにしましょう。

〔モモ・せん孔細菌病〕

本日発表の「モモせん孔細菌病の春季防除情報」を参照してください。

・留意事項

今後の気温はほぼ平年並と予想されていますが、近年は気温の変動が大きくなっているようです。果樹の萌芽、発芽やりん片脱落など生育時期が変動する可能性があります。果樹の生育段階に合わせ、防除適期を逃さないように気をつけましょう。

ナシやモモでマルカイガラムシ類の発生が多いほ場では、ナシ黒星病、モモ黒星病、モモ縮葉病などの病害防除を兼ねて石灰硫黄合剤で発芽前までに防除しましょう。

前年秋にフジコナカイガラムシの発生が多かったカキほ場では、越冬虫数が多くなっていると予想します。発芽前にマシン油乳剤で防除しましょう。

野菜

・予報内容

作物名	病虫害名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
キャベツ	コナガ	平年並	県全域	2月下旬の発生量は平年並 3月の降水量は平年並か少ない 3月の気温はほぼ平年並	± ±～+
タマネギ	白色疫病	平年並	県全域	2月下旬の発生量は平年並 3月の降水量は平年並か少ない	± ±～-
	べと病	多い	県全域	2月下旬の発生量は多い 3月の降水量は平年並か少ない	+ ±～-
トマト (施設)	疫病	平年並	県全域	2月下旬の発生量は平年並	±
	灰色かび病	平年並	県全域	2月下旬の発生量は平年並	±
	葉かび病	平年並	県全域	2月下旬の発生量は平年並	±
ナス (施設)	うどんこ病	やや多い	県全域	2月下旬の発生量はやや多い	+
	灰色かび病	やや少ない	県全域	2月下旬の発生量はやや少ない	-
	すすかび病	平年並	県全域	2月下旬の発生量は平年並	±
	ミナミキイロ アザミウマ	平年並	県全域	2月下旬の発生量は平年並 3月の気温はほぼ平年並	± ±
キュウリ (施設)	べと病	やや多い	県全域	2月下旬の発生量はやや多い	+
	うどんこ病	平年並	県全域	2月下旬の発生量は平年並	±
	灰色かび病	やや少ない	県全域	2月下旬の発生量はやや少ない	-
	ミナミキイロ アザミウマ	平年並	県全域	2月下旬の発生量は平年並 3月の気温はほぼ平年並	± ±
イチゴ (施設)	灰色かび病	少ない	県全域	2月下旬の発生量は少ない	-
	うどんこ病	やや少ない	県全域	2月下旬の発生量はやや少ない	-
	ハダニ類	少ない	県全域	2月下旬の発生量は少ない 3月の気温はほぼ平年並	- ±

・防除対策

[タマネギ・べと病]

本日発表の「平成28年度病害虫発生予察注意報第9号」を参照してください。

[ナス（施設）・うどんこ病]

発生が多いほ場では、ベルコートフロアブルやアフェットフロアブルなどで防除しましょう。

[キュウリ（施設）・べと病]

過剰なかん水を避けましょう。ベトファイター顆粒水和剤やダコニール1000などで防除しましょう。

・留意事項

キャベツでコナガが発生しているほ場が散見されます。発生ほ場では早めに防除しましょう。また、収穫残さは本種の発生源になるので、収穫終了後は速やかにすき込みましょう。

イチゴでは、ハダニ類の発生ほ場が増加しており、多発しているほ場もあります。多発すると防除が困難になるので、早めに防除しましょう。また、アザミウマ類の発生を認めています。例年、気温が上昇する3月から発生量が増加します。施設開口部や吸気口の付近など発生しやすい場所をよく観察し、発生を認めたら速やかに防除しましょう。天敵や訪花昆虫を放飼している場合は、それらへの影響を考慮し農薬を選びましょう。

トマト黄化葉巻病の病原ウイルス（TYLCV）を媒介するタバココナジラミが、気温の上昇に伴い増殖しやすくなります。黄色粘着板などを設置して発生状況に注意し、発生量が多くなる前に防除しましょう。

花き

・留意事項

夏秋ギクの採穂の時期になります。白さび病やウイルス病などが発生していない親株から穂を採りましょう。

参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方气象台3月2日発表）

〈予想される向こう1か月の天候〉

天気は数日の周期で変わるでしょう。平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並の確率50%です。2週目は、平年並または低い確率ともに40%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い：40% 平年並：30% 高い：30%

〔降水量〕 少ない：40% 平年並：40% 多い：20%

〔日照時間〕 少ない：30% 平年並：40% 多い：30%